

3年生の修学旅行がありました。

3年生は、5月22日から2泊3日で、京都・奈良方面に修学旅行に行ってきました。3日間天気にも恵まれ、関西は多数の修学旅行生と海外からの観光客で賑わっていました。引率した教員の中にも、コロナ禍以降ひさしぶりの引率だった者もあり、観光地の様子に嬉しさや懐かしさを感じていました。

3年生は、学校の生活の柱にもなっている「TPO について考えた行動」をとっており、「蓮沼中学校の生徒さんたちは素晴らしいですね」とお褒めの言葉をもらい、嬉しい気持ちになりました。特に印象的だったのが、集合時間を守ろうとする意識です。時間に遅れそうだと判断した場合、本部にきちんと連絡を入れたり、バス停から宿舎まで全班員で走って帰ってきたりと、自分たちができる努力を最大限に行っていました。

これまでも、1、2年時に東京近郊での班行動を行ってきました。蓮沼中学校での校外学習は、自分たちが立てた計画に沿って、しっかり行動することを大きな目的としています。予定通り進まないこともありましたが、3年間の積み重ねもあり、班員と協力して適切な対応を取れたことは、大きな成長だと感じています。

また、仲間とともに3日間過ごす体験も初めてだったと思います。班行動中や宿舎で気遣いを見せる場面も多々ありました。修学旅行を通して、教室とは異なる級友の良い面を見つげることができたならば、とても有意義な行事だったといえるでしょう。今後は事後学習を行い、学んだことを是非下級生に伝えてほしいと思っています。

運動会での応援ありがとうございました。

スローガン「Never Give Up! ～最後まで全力で楽しめ～」

修学旅行に引き続き、運動会も天候に恵まれ無事に実施されました。各学年・学級ともに練習の成果を発揮し、一生懸命に取り組みました。失敗しても、転んでも、あきらめずに最後まで競技する姿は、見ている者に感動を与えてくれたと思います。生徒たちにとっても、保護者の皆様のあたたかい拍手や応援は非常に嬉しく、気持ちを奮い立たせてくれるものだ

ったことでしょう。校長や山室会長から話があった通り、まさに「大田区で一番の運動会」だったのではないのでしょうか。

生徒たちは、限られた練習時間の中で、「どうしたら上手にできるのか」、あるいは「どうしたら勝てるのか」を真剣に考え、自分たちで作戦を工夫していました。練習では上手くできたのに、本番で失敗してしまったクラスもあったと思います。運動会を参観された方々は、本番の様子しか目にしていませんが、そこに至るまでには、様々な困難を乗り越えた生徒たちの姿があります。運動会を通して成長したお子様の姿を、保護者の皆さまが誇らしく思っただけならば、学校としても嬉しく思います。

最後に、運動会を実施するにあたり、早朝より運営にご協力くださいましたPTAの役員の皆様、大変お世話になりました。そして炎天下の中、長時間応援してくださった保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。今後とも蓮沼中学校のご支援のほどよろしく願いいたします。

文責 鈴木大輔